



特集 地域で支える教育

子どもが学校や家族以外の大人と関わる機会が減り、地域内でのつながりが希薄化していると言われる昨今。教育や子育ての現場に、地域の力を取り入れようという取り組みが進められています。今号では三田市で行われている①さんだ学校支援ボランティア、②さんだ放課後子ども教室、③部活動の地域移行の制度を紹介します。皆さんも地域の宝である子どもを守り育てる取り組みに参加してみませんか。

① 学校支援ボランティア

未来を担う子どもたちの成長を支え、いきいきとした地域づくりを実現するため、地域住民が学校の教育活動や環境整備を支援する取り組みです。

活動内容は多岐にわたり、「できる人が」「できる時に」「できることで」支援します。「子どもと接するのが好き」「時間がある」「趣味や特技がある」など、小さなきっかけが、子どものための活動につながります。

問い合わせ 健康や育成課 (559・5046 FAX 563・3611)

【期待できる効果】

<p>地域・住民</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生きがいや自己実現につながる ・ 地域への愛着が芽生える ・ 地域が活性化される 	<p>学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の質が向上する ・ 子どもと向き合う時間を確保できる 	<p>子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学びが深まる ・ 思いやりや感謝が育まれる ・ 地域の一員としての自覚が芽生える
--	--	--

- 環境支援：**学校活動により良い環境を整える
除草、花壇・菜園管理、図書・備品整理、登下校の見守り、安全パトロール など
- 教育活動支援：**授業や学校活動を支援する
教科指導補助、体験学習、クラブ・部活動指導、校外学習引率、職場体験受け入れ など



▲市HP(さんだ学校支援ボランティア)

地域の人たち

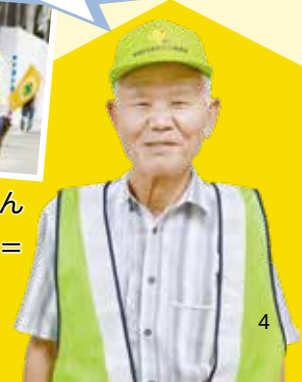
インタビュー

輪小学校区で、登校の見守りボランティアを行っています。なかなか担い手がおらずお願ひされ、やりがいを感じて続けるうち12年が経ちました。今では制服を着ていなくても「見守りのおっちゃん」と声を掛けてもらえるようになったのがうれしいです。毎日参加できなかつた私に、毎朝会っていた子どもが「大丈夫？体調悪いの？」と心配してくれた時、その気遣いと優しさに喜

子どもを見守り
子どもに見守られて
毎日元気をもらえる

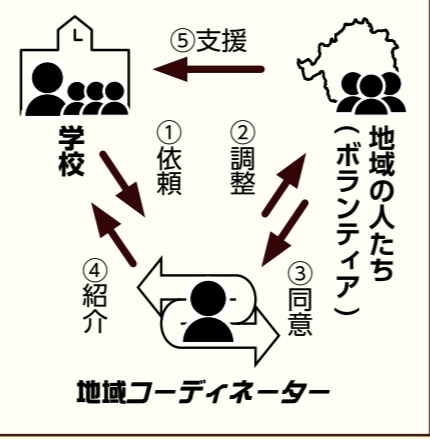


ほそたにみつお 細谷三男さん 高次



地域コーディネーター

地域コーディネーターとは
地域と学校をつなぐ調整役のことです。学校の依頼に応じて、地域にいる学校支援ボランティアと調整し、対応します。また、新しい人材の発掘や、地域と学校の思いを受け止め、意思伝達を円滑にする役割も担っています。



がコーディネーターの役割。学校とボランティアの思いを受け止め、活動支援がスムーズに進むよう努めています。ボランティアの皆さんが気持ちよく活動できる仕組みを築くことも役割の一つ。いつも善意で協力してくれることを、慣れて当たり前と思ってしまうかもしれません。周りの人たちには、普段からボランティアの皆さんへの感謝の心を忘れず接してもらえよう働きかけています。

地域コーディネーターとして
学校から依頼があれば、ボランティアの皆さんの自宅を1軒ずつお願ひに伺います。直接顔をみてお話しし、内容を理解された上で、協力いただけるかどうかを決めてもらいます。実際に参加した人から「楽しかった」「自分も役に立ってうれしかった」と喜びの声を聞くと、コーディネーターとして力になれたと実感します。これからは1人1人との出会いを大切に、地域の子どもたちをわが子のように大事に、寄り添っていききたいです。



地域コーディネーターってどんな人？

ボランティアさんより
人の渡邊さんに吹奏楽をやっていた話をして、音楽会の練習で楽器を教える『器楽ボランティア』に誘われ、学校支援ボランティアを始めました。今では、ミシン・手縫い教室、見守り、行事の支援、給食配膳の補助など、さまざまな活動に参加しています。子どもたちとの交流から元気がもらえ、ボランティア同士のつながりもでき、とてもやりがいを感じています。気持ちよく活動できるのは、渡邊さんが学校とボランティア双方の思いを丁寧に聴き取り、調整してくださっているから。日頃から1人1人を大事に對話を重ね、細やかに動いてくださる作り、地域を支えてくださっています。



うだかずこ 宇田康子さん 二あかしあ台

あかしあ台小学校 校長先生より
材適所の人材を集め、スムーズに進めるだけでなく、1人1人が気持ちよく活動できるような考えで配置されているところが渡邊さんのすごさです。子どもやボランティアの皆さんだけでなく、学校のことも気にかけてくださり、温かく人間味のある人柄に多くの人が集まるのだと感じています。子どもは地域の宝と言いますが、渡邊さんもまた地域の宝だと思います。いつも感謝しています。



あかしああい 渡邊早智子さん 二あかしあ台

緑色の服の人たちは誰？
ボランティアとの出会いは、子どもの通学に付き添った時に見た、緑のジャンパーを着た人たちでした。気になって尋ねると、登下校の見守りを行っているとのこと。三田に引越して来て、そんな活動があると知って驚きました。「子どもを安心して通学できる環境がありがたい」「自分も地域の子どもを見守りたい」と思い、ボランティアを始めました。

インタビュー
「地域は『人財』の宝庫おしゃべりしていると「自分はこの趣味があつて」とか「あの人はこんな事が得意だよ」という話題がちらほら。皆さん自ら言わないものの、多様な特技を持つ『人財』が地域にちりばめられている気がします。新しいつながりを築き上げることがコーディネーターの役割であり、喜びでもあります。

みんなが気持ちよく
地域の力を子どもに届けるの

放課後子ども教室

子どもたちの安全・安心な居場所づくりのため、地域の皆さんが放課後や休日に、小学校やコミュニティハウスなどの施設を利用し、さまざまな活動を行っています。子どもを中心に、学年や世代を超えた交流を促進し、地域社会の中で子どもたちの豊かな心を育むことを目的としています。

問い合わせ先 市HP(三田放課後子ども教室)
559・5046 FAX 563・3611



市内で活動する放課後子ども教室(16小学校区)

あかしあつ子広場	高平郷づくり協議会
おの・学びっこひろば	つつじが丘小学校放課後子ども教室
学園小学校放課後子ども教室	富士小校区放課後子ども教室
キッズ狭間	放課後あいつ子教室
けやき子ども応援団	三輪っ子ハッピークラブ
三田小学校放課後子ども教室	武庫小学校放課後子ども教室
志手原放課後子ども教室	やよいっこサロン
すずかけキッズクラブ	ゆりっこ広場

学園小学校放課後子ども教室

保護者を含めた地域の大人が運営を行い、講師も務めています。また、地区内の牧場からしめ縄づくりの菓をいただくなど、地域ぐるみで子どもに関わっています。学園小学校区はみんながご近所さんという感じ。親子でボール遊びしている、近くの子どもたちが寄ってきて一緒に遊ぶようなアットホームな雰囲気です。子ども教室では、子どもたちが年配の人とそこの出来事をうれしそうに話す光景も見られ、孫のように可愛がってくれていることにお礼を伝えると「何かしてあげたくて、好きでやっている姿に、こんな関係をもっと広げていきたいと感じました。私も学園地区で地域の人たちに育ててもらった1人。その恩を次の世代につなげていきたいです。」



代表 二森 正人さん

志手原放課後子ども教室

毎週金曜日に「宿題と自由遊び」「フットサル」、月2回水曜日に「楽しい体づくり教室」を開催しています。「フットサル」と「楽しい体づくり教室」ではみんなが楽しみながら身体を動かしています。「宿題と自由遊び」では見守りのスタッフが遊びを提案したり指示することはなく、子どもたちが決めていきます。にぎやかに友だちと遊ぶ子もいれば、1人で黙々と宿題をしたり、読書を楽しむ子もいて、みんなが居心地よく過ごせる場所になっています。



代表 杓谷 公江さん

保護者の声



田淵 周子さん

子どもが安全で楽しめるような、家ではできない遊びや運動ができ、いろいろな人と接し、視野を広げる機会をいただいています。学年を超えた交流もでき、保護者もさまざまな話を聞き、子育ての不安の緩和につながるのでありたいです。地域一体で子育てに関わることで、信頼できる大人が増え、子どもの安心につながっています。

保護者の声



國谷 陽子さん

地域に子どもが少なく、家も離れているため、帰らずそのまま集まれる場所があるのがあります。見守りスタッフは保護者なので、子どもも親も安心して利用できます。普段表現できない気持ちを一生懸命話してくれる子もいて、家に帰る前に思い切り楽しむ場所にもなっています。

学校部活動の地域移行に向けた取り組み

「学校部活動の地域移行」とは、これまで学校ごとに自主的に行われてきた部活動を、市内の地域スポーツ・文化・芸術団体などに移行し、「地域クラブ活動」として運営していくものです。国は令和5年度から令和8年度までの3年間を「改革推進期間」と定め、まずは休日の部活動の移行を目指しています。

三田市では、今年度から国の実証事業としてフラワータウンにある市立中学校2校(狭間・富士)の3つの部活動で、部活動指導員が中心となる合同部活動を導入しています。これを地域クラブ活動の母体とし、休日の活動から地域に移行していきます。さらに、この取り組みを市内の全ての公立中学校に広げていく予定です。

問い合わせ先 学校教育課
(559・5138 FAX 559・6400)



▲市HP(三田市新たな地域クラブ活動)

期待する効果

● 複数校合同による学校の枠を超えた生徒・教員の協力を専門性を持つ指導員の指導これらにより...

多様化・専門性への対応

● 選択できるクラブの幅が広がることも、安全で充実した活動ができます



少子化への対応

● 生徒数・教員配置の減少に対し、複数校で協力し活動を維持できます



教師の負担軽減

● 休日の部活動を含めた教員の長時間勤務への負担や、競技の指導経験がない教員の負担を軽減できます



狭間・富士中学校 3つのモデルケース

陸上競技部



三田市陸上競技協会 中尾 弘二さん
これまで三田市立中学校の教員として陸上競技部の顧問を務めてきました。退職後に依頼を受け、部活動指導員として学校を支援しています。私が勤務していた頃より、業務が多様化し大変忙しくなっています。教員は、部活動の意義を感じる一方、勤務時間外の活動であるため負担も感じています。生徒がより良い環境で安全・安心に活動できるよう、持続可能な制度構築が大切です。

剣道部



井上 保さん
実業団時代に競技者と会社員の両方で培った経験を生かし、指導しています。部活動では競技に初めて接する生徒が多く、基本を身に付ける丁寧な指導を心掛けています。子どもは目標に向けて伸びる力が強く、仲間と支え合い、切磋琢磨しながら挑戦し続ける姿は素晴らしいと思います。教員が引退や卒業後も剣道を続け、後輩の様子を見に来ってくれた時は指導者冥利に尽きます。

野球部



山川 和太さん
お世話になっている三田市に恩返しするため、自分が学んだことを地域の子どもたちに伝えていきます。中学生の指導では体調管理を特に注意し、野球を楽しむ好きになれるよう心掛けています。生徒は素直で、私がプロ野球選手時代に受けた指導をかみ砕いて説明するとぐんぐん吸収します。真面目で遊びがと動く姿も気持ち良く、楽しくやがいがいを持って指導しています。

保護者の声



田淵 周子さん

子どもが安全で楽しめるような、家ではできない遊びや運動ができ、いろいろな人と接し、視野を広げる機会をいただいています。学年を超えた交流もでき、保護者もさまざまな話を聞き、子育ての不安の緩和につながるのでありたいです。地域一体で子育てに関わることで、信頼できる大人が増え、子どもの安心につながっています。

保護者の声



國谷 陽子さん

地域に子どもが少なく、家も離れているため、帰らずそのまま集まれる場所があるのがあります。見守りスタッフは保護者なので、子どもも親も安心して利用できます。普段表現できない気持ちを一生懸命話してくれる子もいて、家に帰る前に思い切り楽しむ場所にもなっています。

生徒たちの声

自分では気付けない癖などを的確に指摘してくれる
いろんな練習メニューを覚えてくれて記録が伸びた
他校の生徒同士で教え合っ
て伸ばし合える
他校の人たちとの練習や試合は、いつもより集中できたり「負けたくない」と頑張れたりする
部員が少なかったけど、大勢で練習できるようなってうれし
先生たちの声
未経験であったり専門性の高い部活動の顧問になったりした際には特に負担が大きいので、技術指導を専門家に任せられるのは助かる
指導者が交替した場合の差は、地域クラブの方が小さく安定した指導が期待でき、生徒が安心できる
別の業務との兼ね合いで、手厚くきめ細やかな指導ができないこともあるので、任せられるのは良い